

経営比較分析表（平成29年度決算）

北海道せたな町 せたな町立国保病院（病院事業分）

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
8,195	4,331	第2種該当	10:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	37	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	97
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
60	-	60

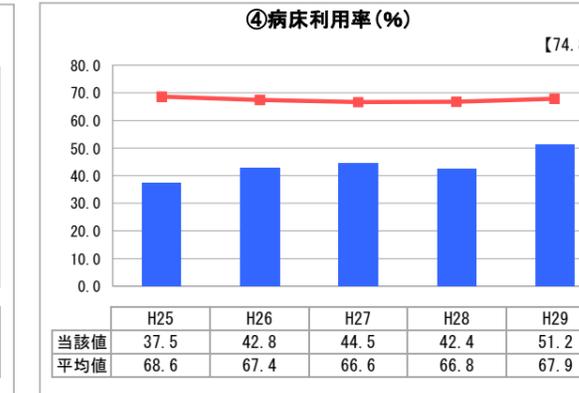
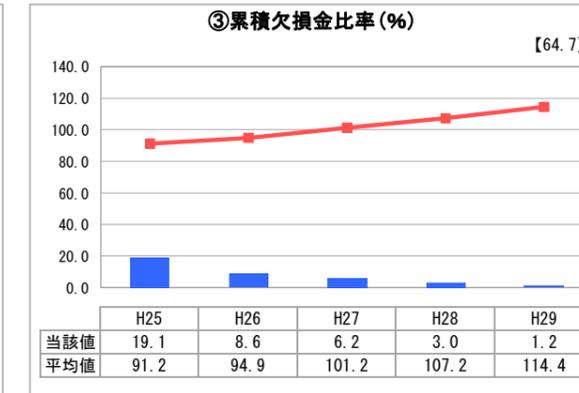
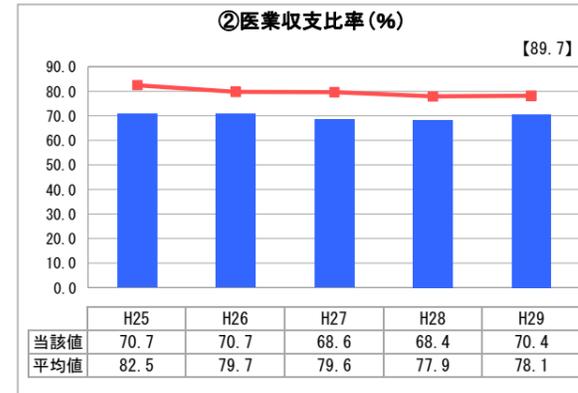
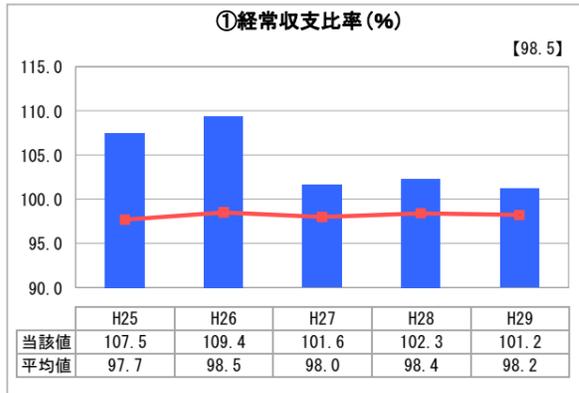
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性

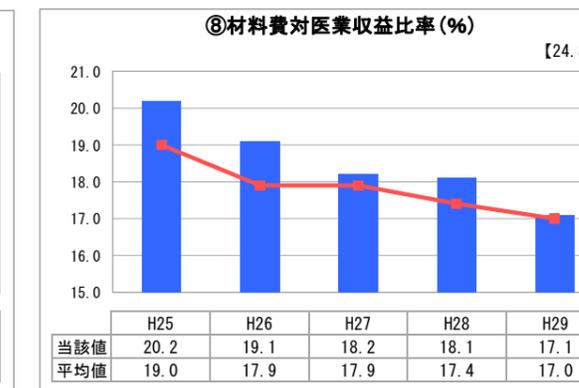
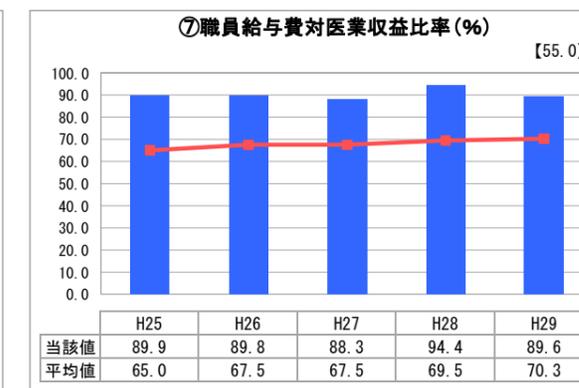
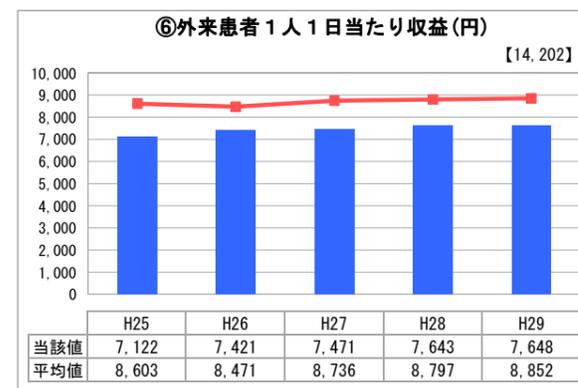
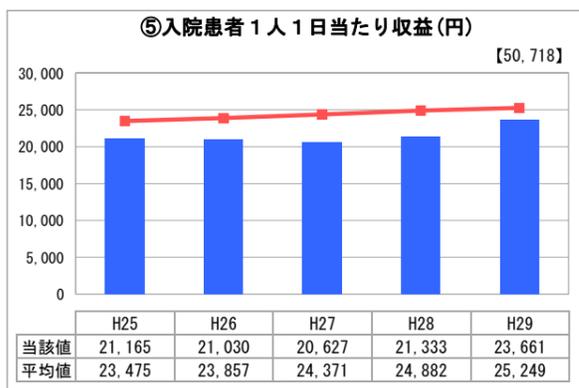


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



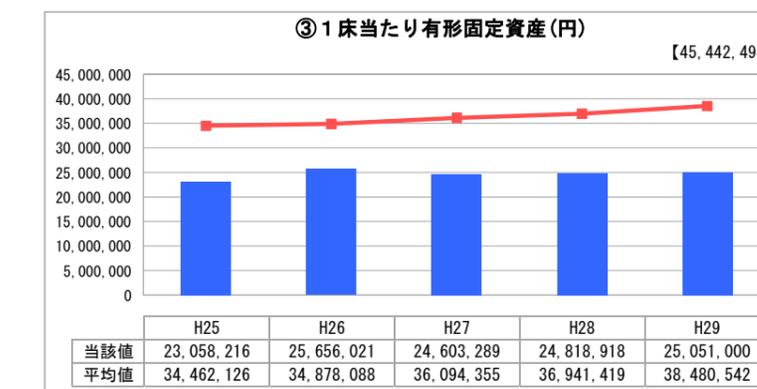
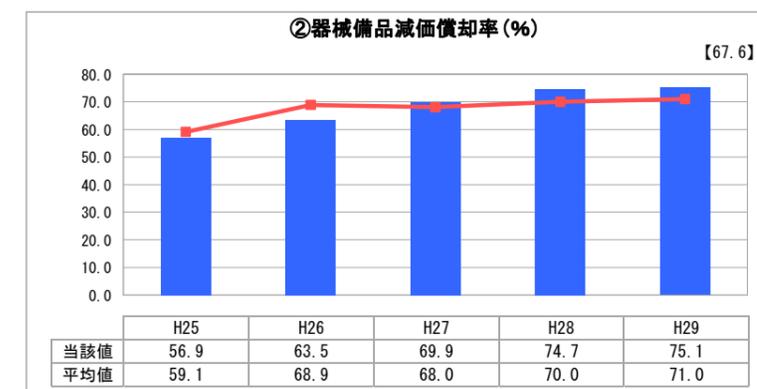
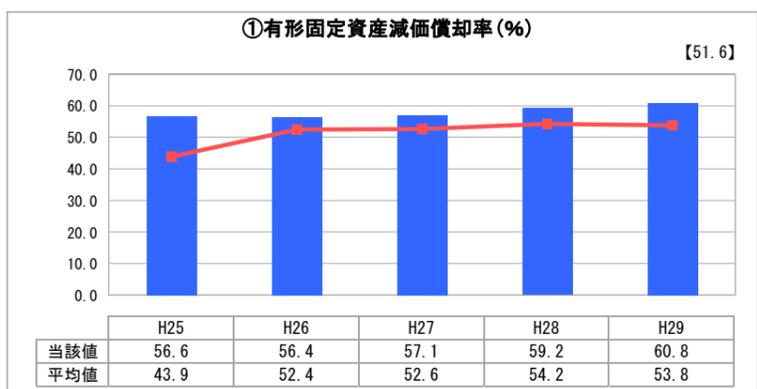
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「器械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- ・ 一次医療の提供
- ・ 民間医療機関との連携
- ・ 二次、三次医療機関との連携
- ・ 救急告示病院
(24時間365日救急患者の受け入れ)

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・ 経常収支比率が平均値より高いのは、一般会計繰入金が大きく影響しており、H25及びH26に比べて比率が低いのは、大成診療所の建て替えに伴う一般会計繰入金が増加したためである。

・ 経常収支の黒字により、累積欠損金は年々減少しているものの、医師不足や人口減少等の影響から患者数も年々減少している中で、看護師等の効率的な配置に努めながら、健全経営を図るため、H29年10月より入院病床を一般病床のみとしたことから、医業収支比率・病床利用率の改善が図られた。

・ 材料費対医業収益比率の減少傾向は、患者数の減少による影響のほか、後発医薬品の使用割合を増やしたことに加え、SPDシステムの導入により、死蔵在庫や過剰在庫の削減が図られたことによるもの。

2. 老朽化の状況について

・ 有形固定資産減価償却率の増加傾向は、大きな要因の一つに、築43年を迎えるせたな町立国保病院、築39年となる看護婦宿舎が老朽化度を押し上げていることから、現在使用していない看護婦宿舎を将来的には解体し、新病院建設の議論と併せて、新たな職員宿舎の整備について検討していく。

・ 同じく増加傾向となっている器械備品減価償却率については、国や道の補助金を活用しながら順次、耐用年数を迎える各種医療機器について更新を図っているものの、H25に取得のCT等の高額な医療機器の更新が控えており、過度な設備投資の負担は経営に重くのしかかる要因となることから、計画的に各種医療機器について更新していく。

全体総括

・ 今経営比較分析表については、せたな町立国保病院のほか、瀬棚診療所と大成診療所を加えた1病院2診療所の経営比較分析表となっているものである。

・ 3施設における課題としては、各比率を見ても推測されたとおり、今後の人口減少等の影響による収益の減少が懸念される。

・ 築43年を迎えるせたな町立国保病院の建て替えも見えているため、新病院の機能や規模、収支見直し等を十分に検討のうえ、課題は山積みの中にありながらも、継続して安定した地域医療を提供していくためには、健全なる病院運営が不可欠であるため、経営の効率化を図り、町民の安心安全のための地域医療確保に取り組んでまいります。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。